

令和 7 年度

新 規 採 抻 希 望

県営中山間地域総合整備事業

県営土地改良事業計画書

(農業用用排水施設整備)

県 名 岐 阜 縿

地 区 名 揖 斐 川 北 西 部

事 業 主 体 岐 阜 縍

目 次

第1章	目的	-----	1
第2章	地域及び地積	-----	1
第1節	地域	-----	1
第2節	地 積	-----	1
第3章	現 況	-----	2
第1節	気象及び海象	-----	2
1. 一般気象		-----	2
2. 特殊気象		-----	2
第2節	土地状況	-----	3
1. 土地、土壤		-----	3
2. 土地利用の状況		-----	4
3. 土地所有の状況		-----	4
第3節	水利状況	-----	5
1. 用水状況		-----	5
2. 排水状況		-----	6
第4節	道路現況	-----	6
第5節	地域農業の概況	-----	7
1. 産業別就業人口		-----	7
2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数		-----	8
3. 動力農機具及び主要家畜頭数		-----	8
4. 主要作物作付状況		-----	9
5. 農業の動向		-----	10
第6節	地域環境の概況	-----	10
第4章	一般計画	-----	11
第1節	事業計画の要旨	-----	11
1. 要 旨		-----	11
2. 事業別面積		-----	11
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	12
1. 営農計画の概要		-----	12
2. 土地利用区分		-----	12
3. 作付方式		-----	12
4. 生産計画		-----	13
第3節	用水計画	-----	14
1. 計画基準年		-----	14
2. 計画かんがい方式		-----	14
3. 計画用水系統		-----	14
4. 計画用水量		-----	15
5. 水源計画		-----	16
第4節	排水計画	-----	17

第5章	主要工事計画	-----	18
第1節	用水施設	-----	18
1. 貯水池		-----	18
2. 頭首工		-----	18
3. 揚水機		-----	18
4. 用水路		-----	18
第2節	排水施設	-----	18
第6章	附帯工事計画	-----	19
第7章	工事の着手及び完了の予定期	-----	19
第8章	環境との調和への配慮	-----	19
第9章	換地計画の概要	-----	19
第10章	事業費の総額及び内訳	-----	20
第11章	効 用	-----	21
第12章	関連する事業	-----	21
第13章	現況・計画図面	-----	21

第1章 目的

本地区は、平野部から傾斜地へと変遷する区域や四方を山々に囲まれた区域で、僅かな平坦地を利用して形成された集落や農地で水稻や茶、山菜などの生産を主体とする零細的な営農を展開している。

これらの地域農業を持続させていくためには、地区内の主要な水田農地における用排水施設といった生産基盤の老朽化解消や農業用施設の被災防止への取り組みを優先的に対処すべき必要がある。

よって、農業生産基盤整備を実施し、農用地における生産体制の維持を図ることで、水稻の生産と特産品の生産を織り交ぜながら新たな地域農業の発展に取り組んでいく。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域	備考
農業用用排水施設整備	岐阜県 捩斐川町 北方、小津、三倉	

第2節 地積

R 6年 10月現在 (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田	畠	(ha)	小計	原野	山林	その他	(ha)	(ha)	計	備考
		(ha)										
農業用用排水 施設整備	揖斐川町	22.8	0.3		23.1						23.1	この事業計画書に記載の面積は、農地台帳面積となる。
	計	22.8	0.3		23.1						23.1	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積（畦畔地積含む）。なお、換地計画を伴う事業は実測（図上）。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積（以下各章同じ）。

第3章 現況

第1節 気象及び海象 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	揖斐川	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H3年～R2年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		23.9	11.3	15.5	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,174.8	1,340.1	2,514.9	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	49.1	89.8	138.9	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-～-	(- 日間)		
無霜期間		-～-	(- 日間)		
最多風向	北西	最大風速 (風向)	32.4 m/s (東南東)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日	1月～12月 H30.9.4

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名		第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
揖斐川		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間																	
S53年～R6年																	
最大日雨量	(mm)	354.0	H14.7.10	1/160	330.0	S61.6.17	1/94	258.0	H12.9.11	1/19	255.5	H24.9.18	1/18	222.0	S61.8.22	1/9	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	96.0	H14.7.10		81.0	H20.9.2		78.5	H24.9.18		73.5	H20.8.6		70.0	R5.8.16		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)																
最大連続干天日数	(日)																

第2節 土地狀況

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畠・その他							受益地標高		備考
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	8°～15°			15°	20°以上	計	最高	最低	
	傾斜区分	以下	～1/100	～1/20	～1/11.5	以上		3°以下	8°～8°	10°～10°	8°～15°	20°			(m)	(m)	
農業用 用排水 施設整備	面積(ha)			7.7		15.1	22.8		0.3					0.3	249	86	
	比率(%)			34		66	100		100					100			

注) 「畑・その他」欄は開畠に係る傾斜が 8° ～ 15° の場合 8° ～ 10° 、 10° ～ 15° に区分。既耕地を対象とする事業は 8° ～ 15° 。

面積は不可避受益を含めた面積

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表									面積(ha)			備考				
	土壌断面									事業名							
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層	堆積様式	母材	農業用 用排水 施設整備						
					表土	下層土							合計				
					一層	二層	三層										
灰色土壤 粘土マンガン型	灰色 灰色	無	無	糸根富 糸根・点富	SCL	SCL	CL	無	水積	非固結 水成岩	16.0			16.0	F51		
灰色土壤 壤土マンガン型	灰色 灰色	無	無	無 糸根・点富	SL	CL	SL	無	水積	非固結 水成岩	3.5			3.5	F53		
黄褐色土壤 粘土型	灰色 黄褐	無	無	糸根含 糸根含	L	CL	CL	無	残積	非固結 水成岩	3.6			3.6	I82		
計											23.1			23.1			

注) 「土壤統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壤区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壤統。

2. 土地利用の状況

R 6 年 10 月現在(第4表-3)

事業名 市町村名	土地利用区分 市町村名	耕地						採草地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他 (ha)						
農業用用排水施設整備	揖斐川町	22.8	0.3					23.1					23.1
	計	22.8	0.3					23.1					23.1
合計		22.8	0.3					23.1					23.1

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

3. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	区分 所有別	個人所有			共有			法人所有			計	備考
		面積(農地台帳) (ha)	6.1	17.0								
農業用用排水施設整備	関係戸数(戸)	30		82							112	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。 戸数及び受益者数の所有権と使用貸借権は重複あり
	筆 数(筆)	64		144							208	
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権	賃貸借権	使用 貸借権	所有権	賃貸借権	使用 貸借権		
	備考(受益者数)	30		31							61	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況
1. 用水状況

溪流・河川から取水し、山地沿いの導水路を経ては場内に配水しているが、施設の老朽化が進行しており維持管理に苦慮している状況である。

(1) 用水系統 別紙用水系統図参照

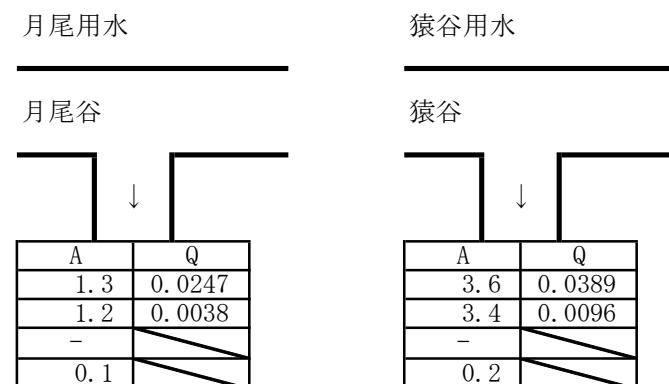
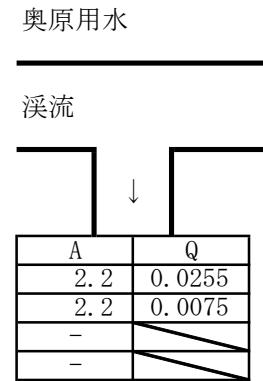
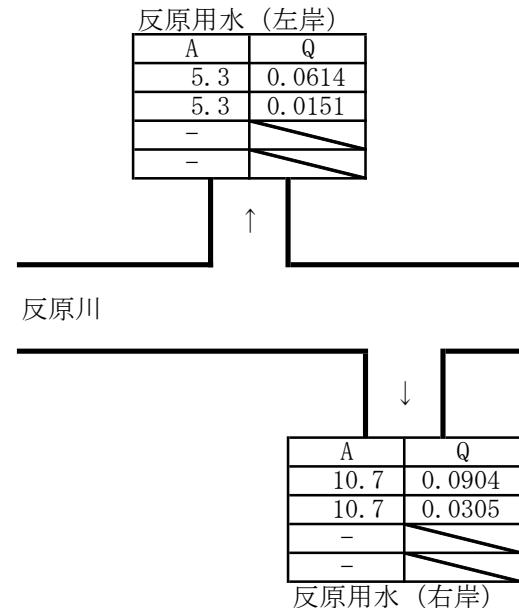
(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	水利権		慣行水利権		延取水量	備考					
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満			(箇所)		(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m³/s)	(箇所)	(m³/s)	(m³/s)	
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m³/s)	(箇所)	(m³/s)	(m³/s)		
農業用排水施設整備	貯水池																		
	井 壕					5	23.1	5	23.1	-	-	-	-	0.241					
	自然取入口																		
	揚水機																		
	その他																		
	計					5	23.1	5	23.1					0.241					
	貯水池																		
	井 壕																		
	自然取入口																		
	揚水機																		
	その他																		
	計																		
合 計						5	23.1	5	23.1					0.241					

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の()書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

現況用水系統図



計

A	Q
23.1	0.2409
22.8	0.0665
-	
0.3	

A:面積 (ha)	Q:用水量 (m ³ /s)
全体	代播期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用 排水施設整備	貯水池							
	井堰	3	19.6	コンクリート	-	S61	老朽化	
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	3	3.5	コンクリート	1,297 m	S40	老朽化	
	その他							
	計	6	23.1					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		6	23.1					

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

2. 排水状況 該当なし

第4節 道路概況 該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

R 6年 10月現在 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 採石業 砂利採取業	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品販賣業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
揖斐川町	9,549	462	45	2	23	1,126	2,127	27	484	1,161	155	58	3,344	320	215	
計	9,549	462	45	2	23	1,126	2,127	27	484	1,161	155	58	3,344	320	215	
比率 (%)	100	5	0	0	0	12	23	0	5	12	2	1	35	3	2	

参考資料：2020国勢調査 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第10-3表 男女、産業(大分類)、職業(大分類)別就業者数(15歳以上)－全国、都道府県、市区町村

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

R 6年 10月現在 (第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)												1戸当たり平均農用地面積(ha)						主副業別農家数(戸)			備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 以上	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業	副業		
揖斐川町	1,039	7	118	195	56	33	12	20	16	7	14	561	1.29	0.34		1.63		1.63	28	32	394		
計	1,039	7	118	195	56	33	12	20	16	7	14	561	1.29	0.34		1.63		1.63	28	32	394		
比率 (%)	100	1	11	19	5	3	1	2	2	1	1	54	79	21		100		100	6	7	87		

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。

参考資料：2020農林業センサス III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、VI総農家等 1総農家数、II農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数、
第70次東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

R 6年 10月現在 (第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考	
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン			乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鳥				
	数 量 (台)	經營体数 (経営体)	数 量 (頭)	經營体数 (経営体)	数 量 (頭)	經營体数 (経営体)	数 量 (頭)	經營体数 (経営体)	数 量 (100羽)	經營体数 (経営体)								
揖斐川町	-	-	-	-	-	-			-	-	x	1	x	1	x	1		
計	-	-	-	-	-	-			-	-	x	1	x	1	x	1		
100経営体当数量 (台・頭)	-		-		-				-		x		x		x			
所有経営体数の割合 (%)	-		-		-				-		0.1		0.1		0.1			

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された

参考資料：2020農林業センサス II農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

4. 主要作物作付状況

R 6 年 10 月現在 (第 7 表-4)

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

参考資料：第70次 東海農林水產統計年報 IV 耕地の部 2 耕地面積(市町村別)、V 農作物の部 1 作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)

5. 農業の動向 指斐川町 R 6 年 10 月現在(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			その他の 農業政策 実績	地 域 指 定 等	備 考
	B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)				
変化の状況 C年を100とする指標	総農家数	80	58	耕地	98	97	水稻	87	92	乳牛	-	-	動力田植機	77	-	農振計画 H17.7 山振 S42.12 過疎 R3.4 特農 H5.9 豪雪 S38.11 たまねぎ S41.8	A: 令和2年 2020年 農林業センサス B: 平成27年 2015年 農林業センサス C: 平成22年 2010年 農林業センサス	
	主業農家数	84	56	田	99	98	小麦	83	87	肉牛	x	x	乗用型トラクター	76	-			
	準主業農家数	47	23	畠	98	96	大豆	98	106	豚	x	x	コンバイン	71	-			
	A R2 副業的農家数	83	53	樹園地	-	-	たまねぎ	100	100	採卵鶏	202	x						
	B H27 農業就業人口	37	19							ブロイラー	-	-						
	C H22																	
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。			・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。			・高齢化、後継者不足および農地面積の減小に伴い減少している。			・高齢化、後継者不足に伴い減少している。			※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。					

参考資料 : 2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、

III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、VI 総農家等 1総農家数

第67次 東海農林水産統計年報 V 耕地面積(市町村別)、VI 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稻(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)

(15)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、

III 販売農家 1主副業別農家数、12年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、V 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、

第62次 東海農林水産統計年報 VI 耕地面積(市町村別)、VII 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稻(市町村別)、(4)麦類(市町村別)、(12)大豆(市町村別)、

(13)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

2010農林業センサス II 農業経営体 12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、

IV 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、V 販売農家 2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)

第57次 東海農林水産統計年報 IV 耕地面積、V 農作物の部 1 22年作付(栽培)面積、収穫量 (1)水稻、麦類、2 22年作付(栽培)面積、収穫量 (1)大豆、

(4)野菜 イ 指定産地の生産出荷実績

第6節 地域環境の概況

町の南西部から北西部にかけては、標高1,100～1,300m前後の山々がそびえ、その山間を縫うように揖斐川、坂内川、日坂川、根尾川、粕川などが流れている。約90%以上が山林となる中山間地帯ではあるが、一部山地から平野への変化部を含むため、海拔50m～350mと標高差の大きな区域となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

老朽化の進行や維持管理が増大した用水路、頭首工に対して更新整備を実施し、用水の施設機能維持、改良を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用排水施設整備														合計 (ha)
	土地 利 用 分 区 事 業 目 的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
用水改良		22.8	0.3				23.1							23.1	
計		22.8	0.3				23.1							23.1	

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畠地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

既存の水田を活用し、水稻主体の生産体制をもとに組織的営農の展開を図りながら、生産の効率化、営農の持続を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	耕地							採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	小計 (ha)						
農業用排水施設整備	現況	22.8	0.3					23.1					23.1	
	計画	22.8	0.3					23.1					23.1	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	22.8	0.3					23.1					23.1	
	計画	22.8	0.3					23.1					23.1	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
農業用排水施設整備	水田	表作	水稻	16.3	16.3	-	66	66	443	443	-	72.2	72.2	-	-	-
			飼料用米	5.3	5.3	-	21	21	443	443	-	23.5	23.5	-	-	-
			小麦	3.1	3.1	-	12	12	232	232	-	7.2	7.2	-	-	-
			小菊	0.2	0.2	-	1	1	56,000	56,000	-	112.0	112.0	-	-	-
		裏作														単位面積当収量(本/10a)
	普通畠	春夏作														
		秋冬作														
	計		24.9	24.9	-	100	100				214.9	214.9	-	-	-	
合計			24.9	24.9	-											

注) 「作付面積の合計」欄の()は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第66次～第70次東海農林水産統計年報 摂斐川町 水稻、小麦 収量より算定 飼料用米、小菊は地元聞き取りによる

第3節 用水計画

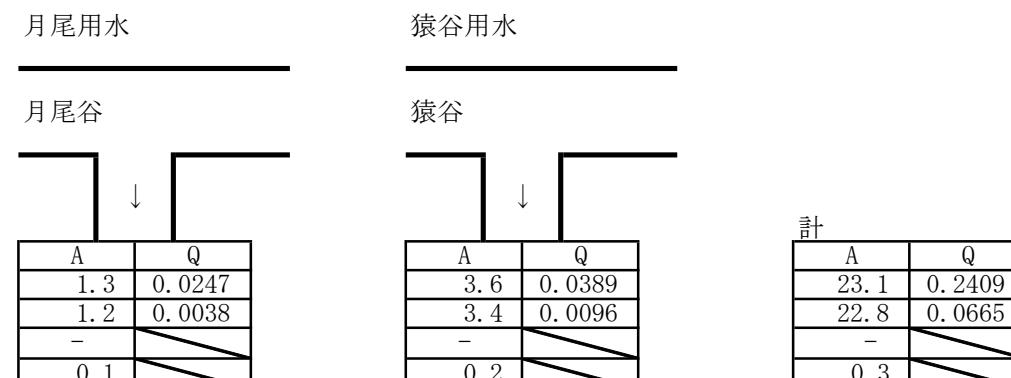
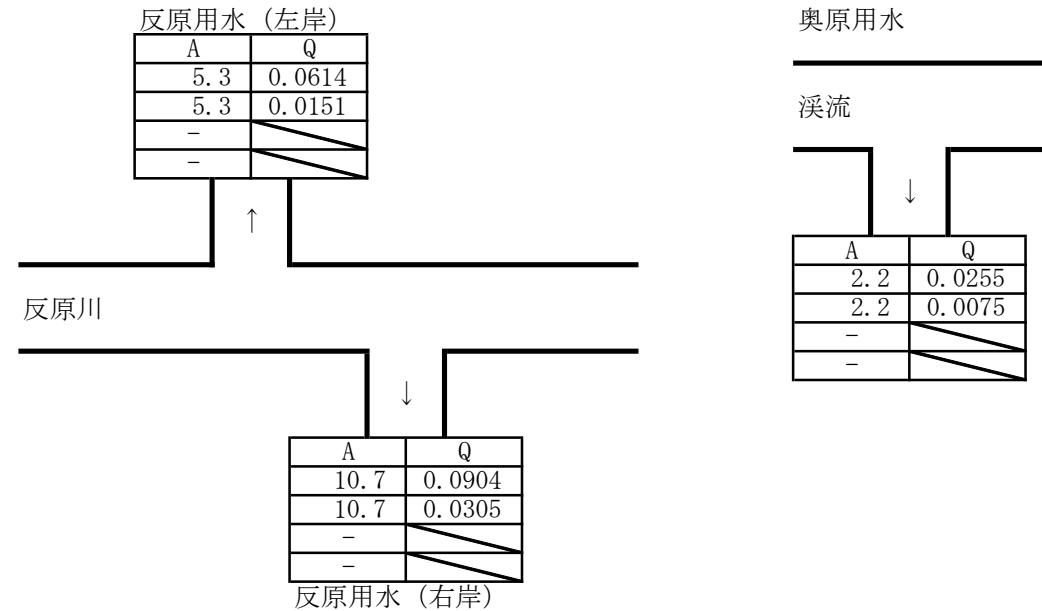
1. 計画基準年 該当無し

2. 計画かんがい方式 水田 滞水かんがい

かんがい期間（水田）					(第10表)
栽培方式	区分 期間	代 搾		用 水 補 給	備 考
		自	～	至	
特 早 期	～ 月		日	～ 月	日
早 期	月 日 ～ 月 日		日	月 日 ～ 月 日	日
普 通 期	5月 25日 ～ 5月 27日		3日	5月 28日 ～ 8月 25日	90日

3. 計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

計画用水系統図



A:面積 (ha)	Q:用水量 (m ³ /s)
全体	代播期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面 積 (ha)			水田かんがい			畠地かんがい			田 畑 輪 換						消費 水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量 普通期 最大 (m³/s)	粗用水量 代播期 最大 (m³/s)		
		事 業 名			水 田			普通畠 (樹園地)			水田かんがい			輪換畠かんがい								
		農業用 用排水 施設整 備		計	普通期 計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	代播期 計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	面 積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	普通期 計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	代播期 計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	面 積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)						
反原用水(右岸)	農業用水	10.7		10.7	19	150	10.7										0.0768	15	0.0305	0.0904		
反原用水(左岸)	"	5.3		5.3	19	150	5.3										0.0522	15	0.0151	0.0614		
奥原用水	"	2.2		2.2	23	150	2.2										0.0217	15	0.0075	0.0255		
月尾用水	"	1.3		1.3	23	150	1.2	5	5	0.1							0.0210	15	0.0038	0.0247		
猿谷用水	"	3.6		3.6	19	150	3.4	5	5	0.2							0.0331	15	0.0096	0.0389		
計		23.1		23.1			22.8			0.3							0.2048		0.0665	0.2409		

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代播単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、0は最大値。

2. 計画平均かん水深は畠かん期間の1回当たりの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

面積は不可避受益を含めた面積

(2) 営農飲雜用水 該 当 な し

5. 水源計画
(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (m³/s)	有効雨量 b (m³/s)	純用水量 c=a-b (m³/s)	粗用水量 d=c/(1- α) (m³/s)	現況利用可能水量			不足量		水源依存量 水源名 水量 (m³/s)	水源工種	備考 損失率 : α
					水源名	取水地點 利用可能量 e (m³/s)	ほ場利用可能量 f (m³/s)	純不足水量 g=c-f (m³/s)	全不足水量 h=d-e (m³/s)			
農業用 用排水 施設整備	0.0768	-	0.0768	0.0904	反原川	0.0904	-	-	-	0.0904		15%
	0.0522	-	0.0522	0.0614	反原川	0.0614	-	-	-	0.0614		15%
	0.0217	-	0.0217	0.0255	渓流	0.0255	-	-	-	0.0255		15%
	0.0210	-	0.0210	0.0247	月尾谷	0.0247	-	-	-	0.0247		15%
	0.0331	-	0.0331	0.0389	猿谷	0.0389	-	-	-	0.0389		15%
計	0.2048	-	0.2048	0.2409		0.2409	-	-	-	0.2409		

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。

2. 純用水量、田畠面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策
(ア) 貯水池

該 当 な し

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積 (ha)			取水量		渴水量 (m³/s)	備考		
			事業名			最大 (m³/s)	平均 (m³/s)				
			農業用排水施設整備		計						
反原用水(右岸)	反原川		10.7		10.7	0.0614	0.0151				
反原用水(左岸)	反原川		5.3		5.3	0.0614	0.0151				
猿谷用水	猿谷		3.6		3.6	0.0389	0.0096				
計			19.6		19.6						

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。

2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「渴水量」欄は計画基準年。

(ウ) 揚水機

該 当 な し

(第10表-6)

(エ) 用水路

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (m)	構造	備考				
	事業名										
	農業用排水施設整備		計								
反原用水(右岸)	10.7		10.7	0.0904	175	BF500、BF450					
奥原用水	2.2		2.2	0.0255	712	管路					
月尾用水	1.3		1.3	0.0247	410	管路					
計	14.2		14.2	0.1406	1,297						

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質(改良後の状況) 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m³/s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				
反原用水(右岸)	自然取水	2.00	7.1		7.1		0.0904		
反原用水(左岸)	自然取水	0.70	6.2		6.2		0.0614		
猿谷用水	自然取水	1.00	7.5		7.5		0.0389		

注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段()は堤頂標高。

2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。

3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門(取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

3. 揚水機 該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m³/s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考					
	事業名				開きよ	トンネル その他の	計									
	農業用 用排水施 設整備		計													
反原用水(右岸)	10.7		10.7	0.0904	175	-	175	BF500、BF450								
奥原用水	2.2		2.2	0.0255	-	712	712	管路								
月尾用水	1.3		1.3	0.0247	-	410	410	管路								
計	14.2		14.2	0.1406	175	1,122	1,297									

注) 1. 「通水量」欄は計画通水量、「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の中の小用水路も含む。

第2節 排水施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着工予定 令和 7 年度

完了予定

令和 11 年度

2. 工事の年度割予定

単位：千円

年 度	全 体	R7	R8	R9	R10	R11				
農業用排水施設整備	144,000	28,800	28,800	28,800	28,800	28,800				
割合 (%)	100	20	20	20	20	20				

第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮

- ・土工実施に伴う下流水域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。
- ・整備実施にあたり、水路内での生物生息が顕著に見受けられる場合は、必要に応じ近隣の河川、水路等へ避難させる。

2. 田園環境整備マスターplanとの整合性

事業実施に際しては、田園環境整備マスターplanにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスターplan内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要

該 当 な し

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業費の総額	千円
154,980	
工事費	千円
144,000	
工雜及び 地方事務費	千円
10,980	

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
農業用排水施設整備	1,297 m		
工 事 費		96,800	
測 量 試 驗 費		45,800	
用 地 補 償 費		1,400	
小 計		144,000	
工 事 雜 費		3,600	
地 方 事 務 費		7,380	
合 計		154,980	

第11章 効用

(第27表)

効果項目	農業用用排水施設整備					
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	10,504	11,451				
農業の持続的発展に関する効果	2,154	-				
農村の振興に関する効果	11,290	-				
多面的機能の發揮に関する効果	2,226	-				
その他の効果	2,353	-				
計	28,527	11,451				
総費用	387,231					
総便益額	590,786					
総費用総便益比	1.52					
総所得償還率	12.4					
増加所得償還率	8.8					

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙による